

楽習フェスタ2013

「第十五回生涯学習フォーラム」 「まつどおしごとデパート」

大盛況！

聖徳大学生涯学習研究所は、六月二十二日(土)、二十三日(日)の二日間にあたり、地域と大学との交流および学生と地元企業の協働の機会を創出することを目的に、「聖徳大学楽習フェスタ2013」第十五回生涯学習フォーラム・まつどおしごとデパート」を開催しました。



講演する明石要一先生

二十三日に行った生涯学習フォーラムは、「人が変わる。地域が輝く。生涯学習の未来を語ろう」をテーマに掲げ、明石要一千葉大学名誉教授による「子どもに多様な体験をさせよう」が

リ勉強じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか」と題した記念講演を実施しました。続いて、「市民と共にまちづくり」「女性とまちづくり」「子育てタウン」地域体験で親子が育つまちづくり」「音楽と福祉のまちづくり」の四つの分科会に分かれ、専門家と参加者が熱心に意見を交えました。

また、昨年に本学十号館で開催し、大盛況だった子ども職業体験イベント「おしごとデパート」を、今年には伊勢丹松戸店に場を移して実施しました。二日間ともに、長蛇の列ができるほどのにぎわいを見せ、約三千五百人(うち子どもは約千五百人)の来場者を迎えました。子どもたちにもリアルな職業体験を提供する

ことを目的に、百貨店のみならず、地元企業に協力いただき、さまざまなブースを設置しました。テレビ局員、郵便局員、デパートガールをはじめ、警察官、消防署員、職人などに変身した子どもたちの一所懸命な姿に、一般客も顔をほころばせていました。



スーパーマーケットでの試食販売を体験

本事業は本学児童学科の神谷明宏准教授と齊藤ゆか准教授が指導にあたり、児童学科および生涯教育文化学科の学生ボランティアが約百名、企業・行政参加者が約四十名、本学職員十名に伊勢丹従業員を加えた、まさに産学官連携事業となりました。